

今回は 家庭科の授業改善報告 です。

◇ 研究授業

日 時：2023年11月10日（金）6限

対 象：2年4組（43名）

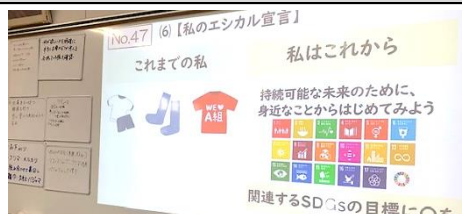
担 当：渡辺夕子

科 目：家庭基礎

単 元：6章衣生活 7. これからの衣服

学習活動：課題「人々の暮らしや環境、社会に配慮した衣生活のあり方を考える」

衣生活における大量生産・大量消費・大量廃棄の背景にある環境問題・人権問題に気づかせ、エシカルな衣生活の必要性を理解させるとともに、商品の計画的な購入、適切な管理、活用方法等を見通した持続可能な衣生活のあり方を考えさせた。食生活分野で学んだエシカルな視点「商品を無駄にしない」といった各々のSDGs宣言を振り返らせ、衣生活分野へ継続的な学びとなるよう工夫した。



◇ 研究授業の成果と今後の課題

授業の冒頭で「人・環境・社会に目を向けた消費行動とは」の問いに、ほとんどクラスで「エシカル消費」との返答があった。食・衣生活において共通するテーマ「持続可能性」と関連させ、繰り返し学習をすることで、生徒への認知や意識の向上につながったと考える。所有する衣服の背景や生産から廃棄の過程についてどんなことを知っているかと問いかけたところ沈黙が続き、事後のレポートにはそれらのことには目を向けたことがなかったと多くの生徒が記述していた。衣服が生産される過程や背景について、現状をデータやVTRで提示した。過酷な労働環境や地球環境への影響、古着が生み出す弊害、綿栽培における環境・人権問題をドキュメンタリー映画「ザ・トゥルー・コスト ファストファッション真の代償」から「バングラディッシュ ラナプラザ崩落事故」に関連した内容を3分程度視聴した。縫製工場の労働者の暮らしと切実な思いが伝わり、短時間でも十分有効であったと感じている。

他分野でも関連させ扱うことで学習効果が高まることを実感する一方、提示する資料や教師側の投げかけによっては、価値観の押し付けや偏った受け止め方になり得ることを十分留意した上で、今後も分野間のつながりを意識した学習計画をしていきたい。

【レポートの記述内容】

これまでは、安ければよいと思って、なるべく低価格のものを選んで買うようにしていました。自分が衣服を安く購入できうれしいその一方で過酷な労働環境で苦しんでいる人々がいる事実を認識していませんでした。これからは、店頭に並んだ商品に認証マークがついているか確認することから始めていきたいです。そして、衝動買いはやめて、買い物に行く前に今持っている服を確認し、必要なものを必要な分だけ購入したいと思います。

修学旅行の前に気合いを入れてたくさんの服を後先考えずネットで注文しました。「今、何が欲しいのか」を優先して購入し、使えないと大掃除の日に捨てることもありました。今日の授業を通して、一枚の服の大切さが本当にわかりました。自分が今着ている服にはどんな背景があってどのような思いが込められているのかを知り、大切な衣服を修繕しながら長く着用できるようになりたいです。